



明るい愛媛の未来に向けて

愛媛県知事 加戸 守行

平成二十二年度当初予算では、依然として厳しい財政状況を踏まえ、財政構造改革の期間を一年延長し、歳入歳出全般にわたる徹底した見直しを進める一方で、行政サービス水準の維持にも留意し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めました。

編成に当たっては、深刻な状況にある経済雇用対策を始め、地域活性化や県民生活の安全・安心の確保など、本県の喫緊の課題に十分意を用いるとともに、加戸県政三期十二年の結実・総仕上げとして「結」の一字を掲げ、明るい愛媛の未来に向けての展望が開けるよう、必要な対策を重点的に講じることとしております。

一 「結」の重点対策

県民の安全・安心実現のための緊急対策として、防災対策、交通安全施設の整備、県立学校の耐震改修などに重点的に取り組まします。

また、えひめ経済の成長を目指して、EV開発プロジェクト等の低炭素ビジネスや農工商連携による食品ビジネスなど、本県独自の経済成長戦略を推進するとともに、「愛」あるブランド商品の普及促進や青年農林漁業者の育成支援など、第一次産業の振興を図ってまいります。

さらに、お互いが助け合い支え合う「愛と心のネットワーク」の構築に向けて、NPOやボランティア団体等の活動の活性化・ネットワーク化を支援するほか、障害者等が安心して暮らせる社会づくりや地域医療を担う医師の養成確保に努めます。

二 国の二次補正予算に対応した緊急総合対策

国の臨時特例交付金による基金を活用した迅速かつ的確な雇用対策の実施や低所得

者に対するセーフティーネット対策の推進を図るとともに、地域のクリーン・エネルギー資源調査を行い、「緑の分権改革」に取り組みます。

また、「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を活用して、危険な橋梁の補修などのきめ細かなインフラ整備を促進します。

三 愛媛の現在と未来を担う人材の育成

新しい学習指導要領の完全実施に向けた小・中学校の教員の授業力向上や情操教育、体験学習などの充実に取り組みます。

また、平成二十九年に開催される愛媛国体に向けて、効果的な競技力向上対策の推進や、拠点施設となる県総合運動公園の改修整備にかかる実施設計に取り組みむほか、新しいえひめ文化の創造を目指し、県民参加によるえひめオペラの開催などを進めてまいります。

四 助け合い支え合う地域社会の構築

乳幼児医療費の助成や保育所・認定こども園の整備など、子供を安心して育てることができる体制の整備を図るとともに、障害福祉サービス利用者に対する支援の充実などにより、障害者の自立と社会参加を促進します。

また、障害福祉サービス利用者に対する支援の充実を始め、介護職員の処遇改善や介護施設等の整備を進めるとともに、後期高齢者医療制度の安定運営や、在宅歯科医療の推進を図ります。

さらに、地域医療の再生に向けて、基金を活用し、医療機関の設備整備や救急医療等に従事する医師の養成、災害拠点病院等の耐震整備に取り組めます。

五 安全・安心で快適な暮らしの実現

自主防災組織を軸とした共助や地域における自助対策の促進に加え、伊方発電所周

辺の放射線監視と施設の安全確認の機能を強化するため、伊方原子力発電所安全監視センター（仮称）の整備を進めます。

また、地球温暖化防止のための各種取組みや公共施設等の省エネ・グリーン化などを推進するとともに、資源循環促進税を活用して、産業廃棄物の排出抑制やバイオ燃料の普及促進など、循環型社会の形成を図ってまいります。

六 再生と創出によるたくましい産業の育成

厳しい状況にある県西南部の活性化に向けて、その基盤となる高速道路等の整備に最優先で取り組むとともに、産官学連携による植物工場の整備や住民グループ主体の観光まちづくりの推進など、産業の振興や交流人口の拡大に努めます。

また、本県の雇用・経済の進展を図るため、雇用対策や建設産業の再生支援を進めるほか、製造業の競争力強化を始め、観光産業の振興、農林水産業の再生や口蹄疫対策などに取り組めます。

七 暮らしと産業を支える基盤の整備

高速道路の延伸など交通基盤の整備を進めるとともに、JR松山駅付近の鉄道高架事業等に取り組む、魅力あるまちづくりを目指します。

八 新しい地方自治の確立

県税徴収率の向上や県有財産の計画的な売却に努めるなど、さらなる歳入確保を図るとともに、愛媛の魅力をはりく発信するため、首都圏におけるパブリシティ活動に積極的に取り組めます。

また、市町の一体的かつ自立的な発展に向けた取組みを支援するほか、人口減少や高齢化により消滅の危機にある集落等の維持・活性化を図るため、地域住民が主体となった集落づくりを支援してまいります。